

1. 事業の位置付け

事務事業名	幼・保・小・中連携の推進事業		
事業担当	学校教育部 指導室		
予算科目	01-100103-100000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	01	1 いのちを大切に作る心もち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	教職員・幼児、児童、生徒	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
幼稚園・保育所・小学校・中学校の教職員が、幼児・児童・生徒の発達段階に応じた指導のあり方を学び、指導の一貫性の向上が図られています。		幼稚園・保育所・小学校・中学校の指導の一貫性を図るため、幼・保・小・中連携学習研究会や講演会を通して指導のあり方や指導上の問題点などについて研究協議をします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	幼・保・小・中連携学習研究会開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	2	1			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	幼・保・小・中連携学習研究会参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			75	150	75			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
指導の一貫性を図るため、幼・保・小・中の交流学習研究会や講演会を通して指導の在り方や指導上の問題点などについて研究協議し、相互理解を深めることができ、特に、就学前教育と小学校との連携への意識の高まりが感じられた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	小1・中1プロブレムといった問題等を解決していくためには、より一層の校種間の連携が求められている。そのことは、参加人数の状況において、目標値を上回る実績値を上げていることからわかる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	小1・中1プロブレムと称された学習の連続性問題や不登校問題、いじめ問題等の解決は市民のニーズとして高い。その解決のために必要であり、継続することにより不登校の児童・生徒やいじめの減少等につながる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	学校教育における、今日的課題に対応しており、様々な校種の教職員を対象としている点も目的の達成のために妥当である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	幼稚園・保育所・小中学校との協働による会場確保やより効果のある事業内容が実施されている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 幼稚園・保育所・小学校・中学校という長いスパンの教育について内容を扱うため、研究会のテーマや講演会の講師など焦点を絞りきれない難しさがある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				幼・保・小・中連携教育講演会の開催	幼・保・小・中連携教育講演会の開催	幼・保・小・中連携教育講演会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	31	31	0	0
事業費 (A)		0	0	0	31	31	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,616	4,647	4,647	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 現状規模で成果を上げているので、継続をすることで成果の向上を図る。	
平成21年度の実行方針	
幼稚園・保育所・小学校・中学校の指導の一貫性を図るため、現状規模で事業を継続する。	
課長コメント	今日的な教育課題として、幼・保・小・中の連携には重点を置いている。これまでの事業の成果を更に発展させるため、継続して事業を実施していきたい。